

仙台国際ハーフマラソン 2022

新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインと大会中止規定

【注意！必ず大会参加前にお読みください】

1. 感染症対策ガイドライン

本ガイドラインは、参加者や大会に携わる関係者、市民の安全を確保するために、日本陸上競技連盟のロードレース競技会ガイダンスの基準等をもとに作成したものです(新型コロナウイルス感染状況により変更する可能性があります)。

下記の項目をよくお読みいただき、内容を承諾したうえで大会にご参加いただきますよう、お願いいたします。

感染症対策のための誓約事項

お申込みをいただいた場合には、以下の事項を了承し、遵守することを誓約いただいたものとします。

1. 本大会の感染症対策や中止規定並びに、個人情報の取得、目的、提供の内容について了承します。
2. 以下の場合は、参加を辞退します。
 - ① 大会当日に発熱した場合や、大会前1週間以内に健康チェックシートの項目に当てはまる症状がある場合。
※下に記載の「『ランパスポート健康チェックシステム』で異常項目がある場合」を示します
 - ② 大会前3週間以内に、PCR検査もしくは抗原検査で陽性反応がある場合。
 - ③ 大会前2週間以内に、新型コロナウイルス感染症陽性と診断された方との濃厚接触がある場合。
 - ④ 大会前2週間以内に、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ⑤ 大会前2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
3. イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症への感染が発覚した場合は、主催者に報告し、自治体や保健所等の調査に協力します。
4. 大会後に感染症を発症した参加者が発見された場合には、その感染経路の特定に協力します。

大会前

- 4月中旬に配布される参加案内を参考に「ランパスポート健康チェックシステム」で4/30から大会当日の体調確認・検温結果を、日ごとに記録してください。大会当日、お手持ちのスマートフォン等で、記録した判定結果のご提示が必要になります。
※感染リスク排除を徹底することから、大会当日、判定結果に一つでも異常項目がある場合は参加をお断りします(この場合の参加料返金はいりません。以下「参加をお断りします」の記載は同様の対応とします)。大会前は、日々の健康管理に細心の注意を払い、万全な体調で大会にご参加いただきますよう、お願いします。
※システムによる記録が困難な場合は、大会WEBサイトに掲載する「健康チェックシート」をダウンロード・紙面印刷のうえ記録し、必要事項を漏れなく記載のうえ、大会当日係員にお渡しください(印刷ができない方には、当日受付にて紙面をお渡します)。
- 65歳以上の方、基礎疾患を有する方の場合、重症化するリスクが高い旨を認識したうえでご参加ください。

大会当日

(1) 入場前

- 会場にスムーズにご入場いただくため、大会当日分の体調確認・検温結果の記録を済ませてから、ご来場ください。

(2) 入場時

- 必ず指定された入場口から会場内にご入場ください。
- 会場内に入る際は、主催者の指示に従い下記をご提示ください。
 - ① ナンバーカード ②お手持ちのスマートフォン等で「ランパスポート健康チェックシステム」の判定結果
 ※ご提示していただけない場合や虚偽の記録をされた場合は、参加をお断りします。
- 検温カメラによる体温測定を受けてください。
※発熱(37.5℃)が確認された場合は、新型コロナウイルス感染の有無にかかわらず、会場への入場や大会への参加をお断りします。
- 検温・健康チェックで問題なかった方には、入場可を証明するリストバンドを装着していただきます。リストバンドは大会終了後まで外さないでください。

体調チェックを行う



5/2より毎日チェックシートの回答を入力し記録する。大会当日まで漏れなく記録のうえ、来場する。

大会当日、入場時にご提示



入場時に「判定結果」画面をご提示

参加可○



「該当症状あり」や「未記入項目あり」で○以外の画面が表示

参加不可×

(3) 会場内の行動について

- 会場内では、マスクの着用等、感染防止対策にご協力ください。大会が求める感染防止対策に従っていただけない場合は、参加をお断りします。
- 荷物置き場や更衣室などでは滞留せず、速やかに行動するよう、ご協力ください。
- 更衣室では密集を避けるように、周りの方と十分な距離を取ってご利用いただくようお願い致します。また、混雑時にはスタッフによる利用人数の制限を行います。人数制限による出走遅れなどについては一切責任を負いません。予め着る服装でご来場いただき、競技終了後のみ更衣室を使用するなど、混雑解消にご協力ください。
- ゴミやマスク、飲みきれなかったドリンク等は各自で持ち帰り、処分してください。
- 設置してあるアルコール消毒などをこまめに利用して感染予防に努めるよう、ご協力ください。
- 他の参加者の方とは十分な距離を取って、咳などをする際は手で覆うなど、ご協力ください。

(4) 競技中

- スタート前(スタートブロックへの移動・待機)やフィニッシュ後は、特に混雑が予想されるため、マスク等で口や鼻を覆うように着用してください(フィニッシュ後に用いるため、競技中もマスク等を携帯してください)。
- 競技中は、各自の判断によりマスク等を着用してください。
- 本大会は、密集を可能な限り避けるためウェーブスタートを導入します。
- 可能な限り、他の参加者とは最低 1m の間隔を取ってください。
※密集回避のため、スタート待機列での割り込み行為は固く禁止いたします。当該行為があった場合は、レースへの参加をお断りいたします。
- 唾や痰を吐く行為はおやめください。
- 給水所は設置しますが、感染防止のためハイドレーションパック等の装備を推奨いたします。
- 事前にハイドレーションに入れる飲料は各自でご準備ください。
- スポンジの提供は行いません。

(5) 競技終了後

- 滞留を防ぐため、当日の記録速報は会場に掲出いたしません。後日大会 WEB サイトに掲載いたします。
- 完走証は WEB のみの発行とし、紙面での発行はいたしません。
- 表彰式は行いません。表彰対象者には、後日、賞状と副賞をお送りさせていただきます。
- 会場内には滞留せず、速やかに退場するよう、ご協力ください。

大会終了後

- 大会終了後 2 週間の体調管理・検温結果については、大会 WEB サイトより「健康チェックシート(大会後)」をダウンロードのうえ、各自で記録してください。
- 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症への感染が発覚した場合は、主催者に対して濃厚接触者の有無等についてご報告ください。

その他

(1) 観戦・応援について

- 大会会場(陸上競技場のスタンドや、参加者待機場所を含む)には、参加者以外のご家族やご友人などは入場できません。またコース沿道上での応援は、自粛してください。

(2) 大会スタッフについて

- 本大会の運営スタッフは、マスク、フェイスガード、ビニール手袋等を着用します。

(3) 体調不良(感染の疑い)がある参加者・スタッフがいた場合

- 体調不良を感じた場合は、速やかに会場内及びコース上の救護スタッフにお申し出ください。
- 本大会の開催にあたり、新型コロナウイルス感染者が出た場合は、関係機関への情報提供を行うとともに、参加者・大会関係者に、必要に応じてご連絡をさせていただきます。

(4) 推奨アプリについて

- 本大会は、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)の利用を推奨しています。ご自身のスマートフォンにインストールをしてご利用ください。

(5) 保険について

- 本大会で加入している保険は、感染症は対象外となります。ご了承ください。

2. 新型コロナウイルス感染症に関わる大会中止規定

以下の場合には大会を中止いたします。

1. 大会開催日が、開催地の自治体(宮城県・仙台市)から発出されるイベント中止もしくは自粛要請の期間に該当する場合。
2. 国内感染状況や感染拡大リスク等を踏まえ、安全な開催が困難であると実行委員会が判断した場合。

※令和 4 年 3 月末までに中止決定をした場合の参加料については、全額返金いたします。それ以降に中止を決定した場合、その時点までに生じた費用等を勘案し、返金等対応策を検討いたします。

※大会中止の場合は、2020(第 30 回)大会の優先出走権は次大会以降に引継ぎますが、一般追加募集エントリー枠の参加者には優先出走権の付与はいたしません。

3. その他

- ランナー・参加者の皆様がより安全・安心に大会に参加できるよう、新たに「ワクチン接種歴、または陰性の検査結果の確認」を導入いたします。詳細が決まり次第、大会 WEB サイト等でご案内いたします。
- 本規定に記載された事項は、今後の新型コロナウイルス感染状況および政府・自治体からの要請等により、変更が生じる可能性があります。その場合、参加者にも追加の対応やご負担をお願いすることがあります。変更が生じた場合は、大会 WEB サイトで速やかにご連絡いたします。

本大会では、以下の感染症対策を実施します。

1. 大会規模の縮小
 - 競技をハーフマラソンに限定し、参加者数はフィジカル・ディスタンスを考慮し 60%削減
 - 5 km の部・2km の部は開催見合わせ
 - 式典や関連イベント、応援イベント等の中止
 - 参加者を国内在住者に限定
2. 専門医や管理体制の構築
 - 感染症対策室の設置
 - 専門医や保健所の指導・助言に基づく感染予防マニュアルの作成
 - 医師も含めた医療従事スタッフを現場に配置
3. フィジカル・ディスタンスの確保
 - スタート地点の密集と、スタート時やコース走行中の混雑緩和を図るため、2 段階のウェーブスタートを実施
 - メイン会場はゾーニングにより参加者・関係者以外を明確に区分けし、排除
 - メイン会場を効率的にレイアウトし、密防止を徹底
 - 大会当日発行の記録証を、後日インターネットによる WEB 発行に変更
4. 全関係者の体調管理
 - 1 週間前から全ての参加者・関係者は「健康チェックシート」による体調や体温の管理(大会当日朝、回収・確認)
 - 参加者待機所内入口で参加者・関係者の検温実施
5. 手指消毒、服装 等
 - 大会関係者は全てマスク着用を義務付け、参加者に近接するスタッフはフェイスガードや手袋・防護服を着用
 - アルコール消毒液を各所に配置、更衣室等の換気の実施
6. 沿道観戦の自粛要請
 - 大会 WEB サイト・ポスター・交通規制チラシ・看板等に協力文を記載
 - テレビ・新聞等メディアを活用した協力の周知
 - 定禅寺通や折返し地点等、沿道各所への警備・案内スタッフの増員
 - 号外や応援旗の配布の見合わせ
7. その他
 - 申込方法をインターネットに限定
 - 参加者との距離を確保した取材エリアの設置

仙台国際ハーフマラソン大会実行委員会 事務局
公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団 スポーツ事業課内
〒983-0045 宮城県仙台市宮城野区宮城野 2-11-6
弘進ゴム アスリートパーク仙台(仙台市陸上競技場)
Tel/022-297-1322 Fax/022-297-1323
(月～金 8:30～17:00/土・日・祝日休業)
[e-mail]sendai_half@spf-sendai.jp [URL] <http://www.sendaihalf.com>